

久我山だより

平成31年4月27日

杉並区立久我山小学校

電話(3331)3631 FAX(3247)8415

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>

いのちの日～読み聞かせ朝会～

副校長 瀬川 雅之

「この本は、わたしたちが忘れかけてしまっている大事なことを思い出せてくれました。命が生まれ、たくさんの命をもらって大きくなり、子どもを産みます。このように命が人から人へとつながっているということやたくさんの人との出会いの中で、心が育っていることを気付かせてくれました。(略) 私は、これから自分の命を大切にし、周りの人の命を大切にしていきたいと思います。」

「いのちの日」読み聞かせ朝会で、『命はどうしてたいせつなの?』(作者:大野正人 絵:ハラアツシ 監修:出口保行 汐文社)を紹介したときの児童の感想です。

みんながあたりまえに使っている、ことば。だけど、じつは、まほうのことば。「いただきます。」は、自分を大きくしてくれる命にむけた、かんしゃのことば。

「ありがとう。」は、自分の心をつくってくれる命にむけた、かんしゃのことば。

作者の大野正人さんは「いただきます。」

「ありがとう。」このたったふたつのことばで、命の大切さを感じることができると伝えてくれています。

『じぶん』(文:レイフ・クリスチャン 訳:にもんじ まさあき 絵:ディック・ステンベリー 岩崎書店)この本は、スウェーデン生まれ、日々のくらしのなかのささやかな、ちいさなちいさな感動を見逃すことなく伝えてくれる本です。

考えたことがありますか
じぶんにできることを

目は
世界を
しっかりみることができる

耳は
どんなつぶやきも
ききとることができる



口は
見たこと きいたことを
つたえることができる
(略)

心は
相手の気持ちをかんじとることができる

考えてみませんか
じぶんでできることを

この本も、「いのちの日」朝会で紹介されたものです。一人ひとり、必ず自分のできることがあり、自分自身を大切に自信をもって生きてほしいという願いが伝わってきます。

その他には『いのちのまつり おかげさま』(作:草場一彦 絵:平安座質尚 出版社:サンマーク出版)『あったかいな』(作:くすのき しげのり 絵:片山健 出版社:廣済堂あかつき)などの読み聞かせをしてきました。

久我山小学校では、月に一度「いのちの日」の学級指導と全校朝会を実施しています。また、「特別の教科 道徳」や「人権標語」などの活動を通して、いのちの大切さや思いやりの心を育んでいけるように取り組んでいきます。